

江戸の本

読む・書く・刷る

江戸の出版文化をたどる



『雪梅芳譚犬の草紙 十編下』
笠亭仙果作・三代歌川豊国画



『雪梅芳譚犬の草紙 十一編』
笠亭仙果作・三代歌川豊国画

今、NHK 大河ドラマ『べらぼう』で注目を集めている蔦屋重三郎（蔦重）。彼は18世紀後半の江戸で、黄表紙や浮世絵を手がけ、大衆の心をとらえる本を次々と世に送り出しました。

本展では、生方記念文庫の蔵書を通して、江戸の人々がどんな本を読んでいたのかを紹介します。

2025.9.20(土)



11.24(月)



『雪梅芳譚犬の草紙』
笠亭仙果作・三代歌川豊国画



『解体新書卷之三』
杉田玄白・前野良沢ほか翻訳

生方記念文庫

〒378-0047 群馬県沼田市上之町199番地1 / TEL&FAX 0278-22-3110 / 開館時間 9:30～17:00 /

休館日 水曜日、9月25日(木)、10月14日(火)、11月4日(火) / 観覧料 大人110円(20名以上の団体料金60円)

中学生以下は無料、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 / 主催 沼田市教育委員会

江戸の本

読む・書く・刷る 江戸の出版文化をたどる



『東海道中膝栗毛』 十返舎一九作・画



江戸時代、木版印刷の普及により、学問書から大衆の心をとらえる娯楽作品まで、多様な本が次々と出版されました。

本展では、江戸時代に開花した出版文化を、読む・書く・刷るの3つの視点からたどり、生方記念文庫の蔵書を通して紹介します。



『東海道中膝栗毛』
十返舎一九作・画



『修紫田舎源氏』
柳亭種彦作・歌川国貞画

関連行事

消しゴムはんこでブックカバー作り（桑寿園の抹茶ラテ付き）

江戸のモチーフを消しゴムに彫り、和紙のブックカバーにスタンプします。
お好きな本や手帳がある方はお持ちください。

講師 小林恵美子さん（森のアトリエ造形教室主宰）

日にち 10月4日（土）

時間 午後2時～4時

定員 10名（先着順、要予約）

場所 旧沼田貯蓄銀行1階営業室

参加費 1,100円（生方記念文庫観覧料・画材・抹茶ラテ付き）



【交通の案内】バス JR沼田駅1番バスのりば鎌田・戸倉方面（関越交通バス）
バス停4つ目上之町（6分）下車

車 関越自動車道 沼田ICから車で約10分

【駐車場】旧沼田貯蓄銀行、天狗プラザをご利用ください。

【お問い合わせ】〒378-0047 群馬県沼田市上之町199番地1

TEL&FAX 0278-22-3110 生方記念文庫